

両丹支部全日制事務局

主任理事 鍵 隆司

京都府立福知山高等学校

#### 《総括》

峰山高校から事務局を引き継ぎ、年度スタートしましたが、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス対応に苦慮をした1年でした。

5月15日(土)実施予定の両丹高等学校総合体育大会は、抽選会及びプログラム編成会議を終えた後の実施直前で、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりました。同じく、10月23日(土)実施予定の両丹高等学校駅伝競走大会もコロナ禍の中、十分な練習も行えない状態であり、感染拡大防止の観点から残念ではありましたが中止の判断をしなければなりません。事務局が関わる最後の事業である一般生徒対象事業は、1月22日(土)に、昨年度計画し実施できなかった、ラグビーリーグワン(於:ノエビアスタジアム神戸 コベルコ神戸スティーラーズ VS クボタスピアーズ船橋・東京ベイ)の観戦でしたが、年明けからの急激な新型コロナウイルスの感染拡大のため中止せざるを得なくなりました。

今年度は、昨年以上に事務局関連の事業がすべて中止となりました。このような中、専門部の事業は、各々の部が感染拡大の防止を徹底しできるだけ多くの大会を開催して頂いたことは大変感謝しております。

さて、昨年度からの課題であった両丹駅伝ですが、近年の実施状況や課題、開催の意義等を議論し、当初の役割を十分に果たしたものと考え、来年度からの廃止を決定しました。男子74回・女子36回と伝統ある大会であり、両丹支部の草創期の諸先輩方にはいろいろな思いもおありかと思いますが、今後は他の事業などを発展させていきたいと考えております。

なお、丹後地域では、来年度から学科改編や統廃合で学校数の減に伴い役員数も減になります。それに伴い、駅伝大会の廃止も含め両丹支部の大きな規約改正に取り組んでおります。このような状態ではありますが、両丹は一つの気持ちで、更なる両丹支部の発展をしていく所存です。

最後になりましたが、日頃からスポーツ振興・競技力向上に伴い、生徒の人格形成に献身的な御指導を頂いております顧問の先生方や、学校並びに関係諸機関のご支援に感謝致します。また、新型コロナウイルス感染症の1日も早い終息を願い、今後とも皆様の御支援、御協力をお願い致します。

#### 《大会成績》

##### 【全国大会での好成績】

・全国高等学校総合体育大会

##### レスリング

個人	細川 周	(丹後緑風)	65kg	準優勝
	坂根 海琉子	(々々)	53kg	3位

##### ウエイトリフティング

個人	長島 和奏	(宮津天橋)	76kg	優勝
	下村 愛里	(々々)	59kg	優勝
	川崎 涼雅	(海洋)	67kg	優勝
	東 楽映	(々々)	73kg	優勝
	宇野 心音	(々々)	+76kg	準優勝
	川崎 菜々紗	(々々)	55kg	準優勝

##### カヌー

個人 山岡 凜太郎・山本 侑京ペア(綾部) 3位

・JFA第8回全日本U-18フットサル選手権2021全国大会  
京都共栄学園高等学校 優勝

この他にも多くの選手が、全国大会へ出場しています。その数は、好成績をあげた選手、出場予定、大会中止を含め約130名にのぼります。両丹地域の大きな問題である少子化の影響は、部活動にも大きく関係しています。部員が少なく十分な練習ができない、部の存続が難しくなっている等、深刻な問題です。しかし、このような中、始めに申したとおり、多くの専門部が全国の大会を目指し取り組まれています。今後も競技力向上を目標にし更なる活躍を期待しております。